

Hope 希望を持ち
Only one かけがえのない自分を磨き
Try 未来に向けて努力する
勉強にスポーツに「熱く」なる場所
一人ひとりの「ほっと」できる場所

太良高校 HOT通信



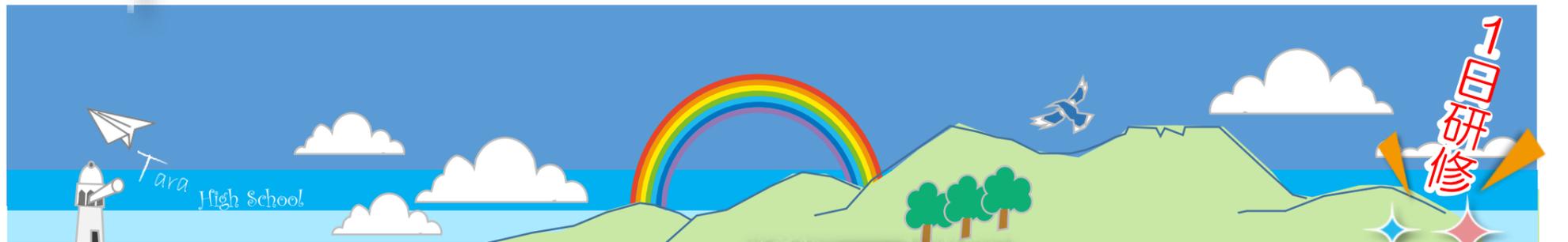
4月22日に生徒会長選挙が行われ、立候補者3名が公約とともに、どのような太良高校にしたいかという“HOT”な思いを全校生徒に向けて演説しました。

【公約紹介】

- ・行事の規模を拡大して一人ひとりが楽しめる学校を作る (中村 陽音さん)
- ・地域に信頼され、愛される学校づくり (山上 健汰さん)
- ・一人一人の個性が輝く学校づくり (古庄 楓さん)

次期生徒会長は投票の結果 中村 陽音さんに決定しました。中村さんへのインタビューでは「みんなの意見に耳を傾け、行事だけではなく、日常の中で交流の場を作っていきたい」と意気込みを語ってくれました。

立候補者立会演説 & 投票



1年生



竹崎島を、15のクイズの答えを求めて島内を散策しました。途中、島の情報に詳しい地元の方に声をかけたり、案内板の説明を探したりして全員ゴールすることができました。学校外での活動を通して、あまり話せていない人と、会話を通してコミュニケーションを深められた1日となりました。

2年生



「多良岳を愛する会」の方々に先導していただき、金泉寺登山口から山頂を目指しました。細く険しい道や岩場が多く、スリル満点な登山道でしたが、友達との会話や山頂からの美しい景色を楽しみながら登りました。途中、「黄金に光る木」や「梵字岩」などのパワースポットがあり、自然の力を感じながら、心身共にリフレッシュすることができました。

3年生



最終学年となった今年の一日研修は、「県内にある様々な職種を知り実際の現場を見ることで、自らの適性に合った進路選択の材料にする」という目的で工場見学に行きました。午前中、1組は九州セキスイハイム工業(鳥栖市)、2組は株式会社東馬(佐賀市)、午後は全員で東亜工機株式会社(鹿島市)を訪問しました。生徒はインターシップや修学旅行での経験を生かしながら、集中して説明を聞き真剣な眼差しで見学していました。生徒自身が社会人になるために、また働くためには何が必要なのかを自ら気づき、自ら考え、進路を決定する、そうしたきっかけになる貴重な研修になったと思います。生徒のこれからの生活に期待します。

主権者教育

本校では生徒会長選挙にあわせて、主権者教育を行っています。2016(平成28)年より公職選挙法が改正され、選挙権年齢が満18歳以上となり、高校3年生から政治に参加できるようになりました。本校公民科の原口先生より、①若者よ選挙に行こう、②エコーチェンバー現象に気をつけよう、③どういう候補者を選ぶのかはあなた次第、④政治の質は国民の質、という点に関して講話がありました。

